

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

謹賀新年号

No. 58

県議会報告

2012. 3



# くさか景子の

ちょっと

よろしいですか!

と



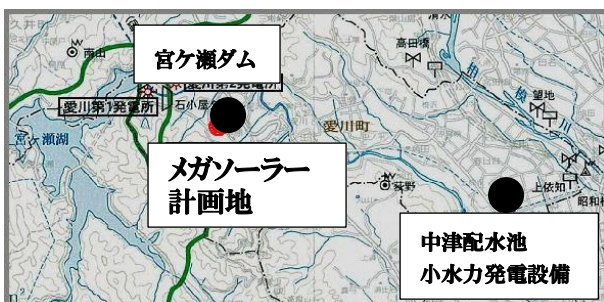
## 県のメガソーラー誘致!

### 平成25年 夏 愛川町でモデル事業始まる

県では、「かながわスマートエネルギー構想」を推進するため、メガソーラー(大規模太陽光発電所)のモデル事業を県有地で始めます。愛川町の県警グラウンドだったところ約3万2千平方メートルにパネルを敷き、一般家庭用パネル600戸分に相当する出力2,000kwを発電します。事業費は2年間で、9億5,200万円。宮ヶ瀬ダムや水力発電を行っている愛川第1・第2発電所に近接し、広報施設「水とエネルギー館」もあり、事業は、県企業庁が担います。



県がモデル地域としてメガソーラーの計画地



しかし、課題としては、まだ買い取り価格が未定なので、採算性が見通しがたっていないこと、予算額は大きいのですが、モデル事業なので電気事業としてではなく、風力発電のモデルや学校での教育面での役割が強い地域振興事業としての位置づけになっていることです。今後も県のメガソーラー誘致候補地は14か所あるので、検討が進められます。

## 「ソーラーシェアリング」のすすめ

ソーラーシェアリングとは、太陽光発電のパネルを細くして間隔を開き、農作業に支障のない高さ(コンバインが作業出来る高さ)の架台に取り付け太陽光発電を行い、下に農地で畑があり、電力、作物の両方が得られるというものです。

すでに実証実験をされているのは、CHO技術研究所の長島彬先生で、千葉県市原市皆吉で、落花生やたまねぎの植え付けをされています。

太陽光発電は、住宅や工場の屋根など設置面積が限られ、日本中に普及しても取得できる電力量は限定されます。反面、畑の上部利用を行い、高さ3mの架台に載せるソーラーパネルが不要な光線を遮るので過熱防止、灌漑用水の節約などで、作物もよく育ち、一挙両得とのこと。

原子力に頼ることから脱却し、自然エネルギーへの転換が図られる中、太陽エネルギーの新たな取り組みとして、ソーラーシェアリングには期待が高まりそうです。



## 美容室「ケンジメイト」の障がい者就労！

市内本宿町に昨年12月にオープンした市内初の特例子会社「ケンジメイト」を訪ねました。

特例子会社とは障がい者のために特別に配慮した子会社のことです。ケンジメイトでは、美容室「ケンジ」92店舗中32店舗分の月10万8千枚程度のタオルクリーニングを引き受けています。

ケンジグループの本多社長は「美容室を1971年に藤沢に1号店を出店し、地元にお世話になっているので、障がい者雇用ということで地域と共に支えあわなければいけない」と話しています。



タオルをたたむ作業場にて

事業所の鈴木所長に話を伺いました。課題は経営の安定、将来的には全量のタオルを請け負うこと、雇用を増やすことが目標だということでした。



「障害者雇用促進法」は従業員56人以上の民間企業に対し、障がい者を1.8%以上雇用しなければなりません。しかし、神奈川県では、平均1.56%と遅れています。今回市内初の特例子会社の設立で雇用の場を1か所に集めるメリットがあり、今後も特例子会社が広がることを期待します。

6人の従業員の業務は、洗濯、乾燥、折り畳み、袋詰めなどで、真面目な仕事ぶりに私も清々しい気持ちになりました。



## くさか景子のほっとコラム

### 県の震災がれき受け入れ困難！

東日本大震災で発生したがれきは岩手県で約11年分、宮城県で約19年分に上り、環境省が目標とする2014年3月末までの処理完了は難しいとしています。東京都では、2月までに2.276tの受け入れを完了、処分場での空間線量を東京都HPで情報公開しながら受け入れをしています。

一方、受け入れを表明した県では、横須賀芦名の地元自治会からの反対が強く、受け入れ撤回の要請書が知事に提出され、受け入れは難しくなりました。本会議でも知事は言葉に詰まるほど悔しさをにじませ、知恵を絞るとあきらめていませんが、残念ながら事実上困難となっています。

放射能の影響が懸念される中で、受け入れにあたっては、調査、情報公開をきちんと行うなどの担保をし、慎重な対応が求められます。